

対ボリビア多民族国事業展開計画

2020年 4月 現在

基本方針 (大目標)	貧困削減を通じた持続的経済成長の実現に向けた協力
---------------	--------------------------

重点分野1 (中目標)	経済基盤の整備及び生産分野の多様化
----------------	-------------------

開発課題1-1 (小目標) 再生可能なエネルギー開発	【現状と課題】 ボリビア政府は2014年に「ボリビア国家電力計画2025」を策定し、2025年を目標に南米のエネルギー拠点化を掲げ周辺国への電力供給計画を発表、再生可能エネルギーの使用目標を2025年までに10%とするとしている。また、電源についても水力、火力（ガス）、地熱などを組み合わせた安定的な電力供給を目指している。経済活動の多様化・拡大に伴う電力消費量の増加による将来的な電力不足も懸念される状況下、気候変動への影響や環境に配慮した再生可能エネルギー開発促進を念頭に置いた電源構成の多様化及び省エネルギー策の推進が重要である。			【開発課題への対応方針】 天然ガス及び鉱物資源に依存する同国経済において、将来的に南米のエネルギー拠点化を目指す政策及び電力需要増への対応の観点から新規電源開発が必要となること、また電源構成の多様化に向け、代替電源となり得る地熱発電に特に注力し再生可能エネルギー開発を促進していく。上記方針を通じて、持続可能な開発目標7（エネルギー）、9（イノベーション）、13（気候変動）等の達成に貢献する。						支援額 (億円)	備考		
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間								
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			2024 年度	
	再生可能エネルギー開発促進プログラム	ボリビアの電源構成の多様化に向けて、将来的な電力需要の充足、ボリビア初となる地熱発電所の円滑な建設・運営のための支援を実施する。	ラグナ・コロラダ地熱発電所建設計画（第一段階第一期）	有償									24.95
		ラグナ・コロラダ地熱発電所建設計画（第二段階）	有償							614.85			
		エネルギー・地熱に関連した課題別研修	課題別研修他										

	<p>【現状と課題】</p> <p>ボリビア政府は多民族国憲法及び2025年までの長期開発計画である「愛国のためのアジェンダ2025」において自然環境と調和した開発を標榜しており、持続的な開発を基本方針としている。都市機能は重要な経済基盤の一つであるが、近年ボリビアにおいては計画的な都市計画や土地利用計画に基づく持続的な開発がなされておらず、開発による新たな災害リスクや水・衛生等の環境に係る問題が生じている。</p> <p>また、ボリビアはIPCC第5次評価報告書においても、気候変動の影響を受ける最もリスクある国の一つとされており、水河の融解等により水資源が減少する恐れがあり、持続的な水資源管理が喫緊の課題となっている。</p> <p>特に人口増加が顕著な都市部においては、工業化を要因とする水不足や無計画な地下水利用、河川水質の悪化、都市河川部における内水氾濫による洪水、都市を結ぶ幹線道路における土砂災害等が発生しておりこれら課題の解決が持続的な都市開発には不可欠である。</p>			<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>水資源管理については、気候変動の影響も受ける中、地下水も含めた持続的な水資源管理体制の強化を図る。科学的な知見に基づくデータ把握のみならず、ローカルコンテキストを踏まえた社会的合意形成を重視した持続的な水資源管理を目指す。特に、人口増加が顕著な都市部での水資源不足が深刻化しつつあることを踏まえて、我が国の経験に基づく資金協力及び技術協力による支援を検討し、限られた水資源の効率的な利用、持続性の確保を重視した協力を進めていく。都市機能の改善については、サンタクルス都市圏における公共交通指向型開発（TOD：Transit-Oriented Development）を通じマスタープランに基づく都市開発を実施し、「オキナワ道路整備計画」、「国道7号線道路防災対策計画」を通じ都市の連結性の改善を目指す。環境保全・管理に関しては、我が国が持つ技術の資金協力での展開を検討すると共に、研修やボランティア事業と草の根無償との連携を中心にリサイクル技術の定着に向けた支援を検討する。防災については、インフラ整備における防災配慮、防災行政機関の強化を通じ、セクター横断的な防災の主流化に取り組む。また、我が国は防災及び水処理について高度な技術や多くの経験を有しており、民間技術の活用も検討した、インフラ整備計画、人材育成及び組織能力強化に寄与する協力の検討を進める。上記方針を通じ、持続可能な開発目標6（水・衛生）、9（イノベーション）、11（都市）、13（気候変動）、15（陸上資源）等の達成に貢献する。</p>								
<p>開発課題 1-2 (小目標)</p> <p>持続可能な都市・インフラ整備／水資源管理</p>	<p>協力プログラム名</p>	<p>協力プログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>備考</p>
	<p>持続可能な都市・インフラ整備／水資源管理プログラム</p>	<p>水資源分野においては、地下水を含む統合水資源管理の視点に基づく水資源管理計画・モニタリング・管理体制の強化に取り組み、防災分野においては、自然災害への対応能力強化と我が国の経験を活かした強靱なインフラの定着に取り組むことで、ボリビア政府の進める「環境と調和した統合的な開発」への達成を支援する。</p>	<p>国道7号線道路防災対策計画</p>	<p>無償</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>17.48</p>						
			<p>オキナワ道路整備計画</p>	<p>無償</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>42.49</p>						
			<p>サンタクルス都市圏BRT整備と一体となった持続可能な都市開発促進プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>4.60</p>						
			<p>SDGsグローバルリーダー・コース（2019）</p>	<p>国別研修</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>							
			<p>防災行政能力強化アドバイザー</p>	<p>第三国専門家</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>							
			<p>コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>5.00</p>						
			<p>気候変動に適応した地下水管理アドバイザー</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>							
			<p>水資源管理に関連した課題別研修等</p>	<p>課題別研修等</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>							
			<p>森林保全計画</p>	<p>無償</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>12.00</p>						
<p>水資源管理分野に関連した草の根・人間の安全保障</p>			<p>草の根無償</p>	<p>2019年度以前</p> <p>2020年度</p> <p>2021年度</p> <p>2022年度</p> <p>2023年度</p> <p>2024年度</p>	<p>0.50</p>							

重点分野2 (中目標)	社会的包摂の促進										
開発課題2-1 (小目標) 保健サービスの普及強化	<p>【現状と課題】</p> <p>ボリビアでは死因の70%が非感染症疾患であり、がんや生活習慣病の対策が大きな課題となっている。一方で、母子保健分野については改善がみられるものの、乳幼児死亡率(36.9/出生千対(2016))や妊産婦死亡率(155/出生10万対)(2017)等は、未だ南米最下位に位置し劣悪な状況にある。ボリビア政府は憲法に定める保健医療サービスへの平等・格差是正に取り組み保健医療施設の機能強化や公的社会保険の拡充、条件付き現金給付制度の導入、遠隔医療といった政策の下、保健医療サービスの拡大に取り組んでいる。しかしながら、人材面、保健医療サービス及びマネジメントの質、保健医療施設・機材の管理の面で課題が残る他、医療機関のキャパシティ増が人口増加に追い付いていない状況である。今回のCOVID-19の影響により、特にICUや病床数の不足、病院間の連携・調整能力の不足、医療関係者の経験不足による院内感染の拡大などの課題が顕在化している。これらの課題に対応するため、医療施設の拡充や資機材の更新、保健医療人材の更なる能力の強化が必要な状況である。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>我が国は1970年代より保健医療分野において無償資金協力及び技術協力事業を実施し、2000年代以降はMDGsやSDGs等の国際枠組の達成に向けた取組を支え、地域保健医療ネットワークの機能を強化に貢献してきた。これにより施設分娩率及び5歳未満児健診率は改善してきているものの、依然として妊産婦や乳幼児の死亡率が高く、また都市人口の増加の影響もあり、特に、都市部における緊急産科の課題が残されている。過去のFORSAプロジェクトにて作成したりファラルガイド等の成果も活かしつつ、ボリビアにて30年続いてきた母子保健協力を締めくくべく、特定の都市部における緊急産科の課題に対応する。また、70年代から無償資金協力で建設した病院の施設や機材の老朽化が拡大する医療ニーズに対応できていないため、過去のアセットを有効活用できるような資金協力を模索し、これらの支援を通じて「平和と健康のための基本方針」に沿ったUHCの達成及び持続可能な開発目標3(保健)の達成に貢献する。</p>						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)
保健医療システム強化プログラム(強化プログラム)	ボリビアの保健医療システムの強化を目的として、過去のアセットを活用した保健人材育成と保健行政マネジメントの強化を支援する。	オルロ県母子保健ネットワーク強化プロジェクト	技プロ	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	3.16	
		医療技術者養成システム強化プロジェクト	技プロ							3.90	
		消化器疾患診断・治療フェーズ3	第三国研修								
		保健・医療に関連したJICA海外協力隊派遣	JOCV								
		保健・医療に関連した課題別研修等	課題別研修他								
		保健・医療分野に関連した草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.97	

